

伝える！ つなげる！ ゴースマイル！

宮小宮の丘

教育目標

学校 HP : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>

〇かしこい子 〇たくましい子 〇ゆたかな子 〇みんなと仲よく生きぬく子

令和7年度 学校だより
八王子市立小宮小学校
発行責任者
校長 山北 雅史
令和7年6月30日発行
第5号

雨の見学先で

校長 山北 雅史

今月11日から、6年生たちと日光移動教室に行ってきました。初日はあいにくの雨の中での出発でしたが、バスレクをしながら楽しく元気に過ごす子どもたちの様子がありました。その後の博物館見学の時のことです。子どもたちは、決められた場所にまとめて荷物を置き、グループごとの見学をしていました。見学時間も終了間際になって、博物館の制服を着たベテランの女性学芸員さんが、子どもたちの様子を見守っていた私に近づいてきました。「小宮小学校の校長先生ですか」……

聞けば子どもたちの「見学する姿がとても素晴らしい」とのお褒めの言葉でした。長年教員をしていると、いろいろな見学先の方とお話する機会があり、丁寧なご挨拶を受けることも多々あります。失礼ながら、中には微笑みとともに社交辞令であろうお褒めの言葉ももらうこともあります。ただ、その方は真顔で、心からこの子たちのどんなところが素晴らしいのかを力強く伝えてくれました。しっかり目的をもって見ながら学んでいるところ、説明をする人の話をしっかり受け止めながら聴いているところ、他の一般の方もいることを意識しながら行動しているところ、という内容でした。こうした学校はそんなにはない、とまで言ってくださいました。そして引率の他の教員も私が話をした方とは別の男性学芸員の方から、同様の温かい言葉を受け取ったことを後で知りました。

子どもたちをたくさん褒めていただき、教員もうれしかったはずですが、子どもたちが褒められることは、この上ない教員の喜びです。そんなことがあったとは知らずに博物館前に静かに集合した子どもたちは、これから始まる3日間に心弾ませながら、雨が引き続き降る中をバスへと戻りました。傘を差して列の最後を歩きながら、天気と裏腹に私の心はとても軽やかでした。

教員の仕事をしていると、ちょっとした子どもたちの姿に元気をもらうときがあります。どんなに忙しくても、あるいは悩んでいても、この仕事をしていてよかったと思う瞬間があります。そんな大げさなことでもなくてもいいのです。人に話せば、そんなことで？と思われるようなことでもいいのです。小宮小学校の教員たちも忙しく過ぎていく日々の中で、そうした思いを子どもたちからたくさん受け取っているはずですが、私が気付かないところでも、きっと。

